

【 11 】 2025 年度 大学院シラバス

専攻分野/コース (英文名)	総合診療内科学 (General Internal Medicine)
研究指導教員	大平 善之
研究・教育の概略	プライマリ・ケアは包括性、継続性、地域性に特色付けられた医療であるが、それには的確に聴取された病歴、身体所見、検査所見の解釈と吟味された根拠に基づいた臨床推論を進める能力が必要となる。本コースの目的は臨床研究能力、論文発表能力を兼ね備えた優れたプライマリ・ケア医(総合診療医、総合内科医)を育成することである。本専攻分野の各科目に共通する目的は、臨床の場より得られた多くの情報を臨床統計学の手法を用いて解析し、プライマリ・ケア領域における臨床診断学、治療学、疾病予防に役立つ根拠を現場に還元することである。また、臨床研究を始めるにあたっては、医の倫理・生命倫理はもちろん、研究デザイン、医療統計学を学ぶことが必要である。臨床研究としての対象は、総合診療内科が診療に関わる種々の徴候と疾患群であるが、感染症や動脈硬化性疾患など横断的に捉えた臨床研究も重要であり意義がある。感染症領域を例にあげると、各種感染症起因菌の疫学調査、迅速診断法、抗菌薬の適正使用、新しい抗菌薬の臨床的評価、院内感染制御について習得し、各研究課題にて臨床より得られたデータの解析を行う。また、選択講義には漢方医療学、高齢者医療学、地域医療学があり、いずれのコースも臨床に即した課題と達成目標が立てられている。
研究項目	1 病歴情報や身体診察の操作特性、診断エラーなど、臨床推論に関する研究 2 患者受療行動、患者意思決定支援に関する研究 3 ポリファーマシー、薬物有害事象、処方最適化などに関する研究 4 地域で捉えた高齢者医療・家庭医療に関する研究 5 プライマリ・ケアの場で必要な迅速診断キットに関する研究 6 卒前・卒後教育に必要なクリニカルスキルに関する研究 7 地域医療連携システム、医療経済、医療政策に関する研究 8 リスクファクターと疾病発症との関連に関する臨床疫学的研究
準備学習(予習・復習)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。

2025 年度講義シラバス（1）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療症候論 実習Ⅰ (プライマリ・ケア症候論 実習Ⅰ)		必修/選択	必修
担当教員	大平善之	担当教員連絡先	内線 3639	
単位数	2 単位 (前期 1・後期 1)	履修年次	1 年	
テーマと目的	プライマリ・ケアにおいて頻度の高い症候とその捉え方を習得する。			
講義計画	種々の症候について、その出現機序、病態について詳述する。			
達成目標	症候を正しく捉え、病態を考察することができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	課題に関する発表と質疑			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)
1	発熱 ①		1	体重減少 ①
2	発熱 ②		2	体重減少 ②
3	発熱 ③		3	腰痛 ①
4	発熱 ④		4	腰痛 ②
5	腹痛 ①		5	全身倦怠感 ①
6	腹痛 ②		6	全身倦怠感 ②
7	腹痛 ③		7	食欲不振 ①
8	頭痛 ①		8	食欲不振 ②
9	頭痛 ②		9	呼吸困難 ①
10	頭痛 ③		10	呼吸困難 ②
11	めまい ①		11	呼吸困難 ③
12	めまい ②		12	咳・痰 ①
13	胸痛 ①		13	咳・痰 ②
14	胸痛 ②		14	歩行障害 ①
15	胸痛 ③		15	歩行障害 ②

2025 年度講義シラバス（2）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療症候論 実習Ⅱ (プライマリ・ケア症候論 実習Ⅱ)			必修/選択 必修
担当教員	鳥飼 圭人	担当教員連絡先	内線 3640	
単位数	2 単位 (前期 1・後期 1)	履修年次	2 年	
テーマと目的	プライマリ・ケアにおいて頻度の高い症候とその捉え方を習得する。			
講義計画	種々の症候について、その出現機序、病態について詳述する。			
達成目標	症候を正しく捉え、病態を考察することができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	課題に関する発表と質疑			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)
1	便通異常 ①		1	急性腹症 ①
2	便通異常 ②		2	急性腹症 ②
3	四肢のしびれ ①		3	意識障害 ①
4	四肢のしびれ ②		4	意識障害 ②
5	不眠 ①		5	歩行障害 ①
6	不眠 ②		6	歩行障害 ②
7	関節痛 ①		7	不定愁訴 ①
8	関節痛 ②		8	不定愁訴 ②
9	動悸 ①		9	体重増加 ①
10	動悸 ②		10	不明熱 ①
11	排尿障害 ①		11	不明熱 ②
12	排尿障害 ②		12	不明熱 ③
13	リンパ節腫脹 ①		13	口内炎・舌炎
14	リンパ節腫脹 ②		14	皮疹 ①
15	リンパ節腫脹 ③		15	皮疹 ②

2025 年度講義シラバス（3）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療病態論Ⅰ (プライマリ・ケア病態論Ⅰ)		必修/選択	必修
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3639、3640	
単位数	2 単位 (前期 1・後期 1)	履修年次	1年	
テーマと目的	プライマリ・ケアに必要な病態診断学を学ぶ			
講義計画	プライマリ・ケアに必要な種々の症候や検査結果の意義を理解し、病態診断に至る過程について詳述する。			
達成目標	臨床統計学も含め鑑別診断を行ないながら病態診断を行うことができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	課題に関する発表と質疑			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席⑩)	後期(回)	内 容 (出席⑩)
1	意識障害 ①		1	ショック ③
2	意識障害 ②		2	電解質異常 ①
3	意識障害 ③		3	電解質異常 ②
4	不整脈 ①		4	電解質異常 ③
5	不整脈 ②		5	胸痛 ①
6	心不全 ①		6	胸痛 ②
7	心不全 ②		7	胸痛 ③
8	不明熱 ①		8	腹痛 ①
9	不明熱 ②		9	腹痛 ②
10	不明熱 ③		10	腹痛 ③
11	頭痛 ①		11	動脈硬化 ①
12	頭痛 ②		12	動脈硬化 ②
13	頭痛 ③		13	動脈硬化 ③
14	ショック ①		14	四肢のしびれ ①
15	ショック ②		15	四肢のしびれ ②

2025 年度講義シラバス（４）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療病態論 II (プライマリ・ケア病態論 II)		必修/選択	必修
担当教員	鳥飼 圭人	担当教員連絡先	内線 3640	
単位数	2 単位 (前期 1・後期 1)	履修年次	2 年	
テーマと目的	プライマリ・ケアに必要な病態診断学を学ぶ			
講義計画	プライマリ・ケアに必要な種々の症候や検査結果の意義を理解し、病態診断に至る過程について詳述する。			
達成目標	臨床統計学も含め鑑別診断を行ないながら病態診断を行うことができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	課題に関する発表と質疑			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1	関節痛 ①		1	四肢のしびれ ①
2	関節痛 ②		2	四肢のしびれ ②
3	皮疹 ①		3	排尿障害 ①
4	皮疹 ②		4	排尿障害 ②
5	間歇性跛行 ①		5	間歇性跛行 ①
6	間歇性跛行 ②		6	間歇性跛行 ②
7	めまい ①		7	血尿 ①
8	めまい ②		8	血尿 ②
9	めまい ③		9	肥満 ①
10	咳 ①		10	肥満 ②
11	咳 ②		11	肝障害 ①
12	呼吸困難 ①		12	肝障害 ②
13	呼吸困難 ②		13	腎機能障害 ①
14	動悸		14	腎機能障害 ②
15	体重減少		15	電解質異常

2025 年度講義シラバス（５）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療診断学Ⅰ（基礎編） （プライマリ・ケア診断学Ⅰ（基礎編））		必修/選択	必修
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3639、4850	
単位数	2 単位（前期 1・後期 1）	履修年次	1 年	
テーマと目的	プライマリ・ケアに必要な医療面接、身体所見、一般検査の意義を習得する。			
講義計画	医療面接、基本的な身体所見、一般検査について詳述する。			
達成目標	医療面接で得られた情報に加え、正確な身体所見がとれ、必要な一般検査を選択し、その検査結果を正しく評価することができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	課題に関する発表と質疑			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)
1	医療面接 ①		1	身体所見 ②
2	医療面接 ②		2	身体所見 ③
3	医療面接 ③		3	身体所見 ④
4	病歴のとりかた ①		4	身体所見 ⑤
5	病歴のとりかた ②		5	一般検査 ①
6	病歴のとりかた ③		6	一般検査 ②
7	バイタルサイン ①		7	一般検査 ③
8	バイタルサイン ②		8	一般検査 ④
9	バイタルサイン ③		9	一般検査 ⑤
10	全身状態 ①		10	心電図 ①
11	全身状態 ②		11	心電図 ②
12	全身状態 ③		12	症候よりみた鑑別診断 ①
13	精神状態 ①		13	症候よりみた鑑別診断 ②
14	精神状態 ②		14	症候よりみた鑑別診断 ③
15	身体所見 ①		15	症候よりみた鑑別診断 ④

2025 年度講義シラバス（6）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学		
講義題目	総合診療診断学 II（応用編） （プライマリ・ケア診断学 II（応用編））		必修/選択	必修	
担当教員	中川 禎介	担当教員連絡先	内線 3640		
単位数	2 単位（前期 1・後期 1）	履修年次	2 年		
テーマと目的	プライマリ・ケアに必要な医療面接、身体所見、一般検査の意義を習得する。				
講義計画	医療面接、基本的な身体所見、一般検査について詳述する。				
達成目標	医療面接で得られた情報に加え、正確な身体所見がとれ、必要な一般検査を選択し、その検査結果を正しく評価することができる。				
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)				
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間				
成績評価法	課題に関する発表と質疑				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席@)	後期(回)	内 容	(出席@)
1	検査情報の有用性		1	診断のガイドライン 肺結核 ②	
2	感度と特異度 ①		2	診断のガイドライン 喘息 ①	
3	感度と特異度 ②		3	診断のガイドライン 喘息 ②	
4	診断の根拠 ①		4	診断のガイドライン COPD ①	
5	診断の根拠 ②		5	診断のガイドライン 虚血性心筋症	
6	Med Line		6	診断のガイドライン ①、②	
7	臨床視診 ①		7	診断のガイドライン 高血圧	
8	臨床視診 ②		8	診断のガイドライン 胃潰瘍	
9	臨床視診 ③		9	診断のガイドライン 慢性腸炎	
10	臨床疫学 ①		10	診断のガイドライン 糖尿病①	
11	臨床疫学 ②		11	診断のガイドライン 糖尿病②	
12	臨床疫学 ③		12	診断のガイドライン 動脈硬化	
13	診断のガイドライン 肺炎 ①		13	診断のガイドライン 甲状腺疾患	
14	診断のガイドライン 肺炎 ②		14	診断のガイドライン 膠原病	
15	診断のガイドライン 肺結核 ①		15	診断のガイドライン 泌尿器系疾患	

2025 年度講義シラバス (7)

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療画像診断学・基礎編 (プライマリ・ケア画像診断学・基礎編)		必修/選択	必修
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3439、3640	
単位数	2 単位 (前期 1・後期 1)	履修年次	1 年	
テーマと目的	画像の成り立ちや人体発生・生理を理解することで、画像の理解度を深める。			
講義計画	1 回1時間で、一つのテーマを理解し、出席者全員で実際の症例を検討する。			
達成目標	各々の分野の画像を一通り理解し、画像判断を行うことができる。			
教科書・参考書	毎回プリントを配布する。			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	実際の読影の際に各個人の理解度を評価する。			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)	
1	空気と軟部組織と石灰化と金属	1	肺間質性病変の見え方 1	
2	胸部単純でのものの厚さと見え方	2	肺間質性病変の見え方 2	
3	縦隔の構造と見え方	3	肺間質性病変の見え方 3	
4	散乱線とものの見え方	4	肺間質性病変の見え方 4	
5	胸部単純と散乱線効果	5	縦隔病変の見え方 1	
6	横隔膜の構造と見え方	6	縦隔病変の見え方 2	
7	吸気の種類とtenting(下肺間膜)	7	縦隔病変の見え方 3	
8	年齢と吸気の種類と横隔膜の形	8	心大血管病変の見え方 1	
9	シルエットサインと病変部位	9	心大血管病変の見え方 1	
10	無気肺とその見え方	10	吸気の種類と心陰影の見え方	
11	無気肺とその見え方	11	体位による心陰影・縦隔影の変化	
12	肺実質病変の見え方 1	12	胸水の見え方	
13	肺実質病変の見え方 2	13	胸水の量と見え方	
14	肺実質病変の見え方 3	14	気胸の見え方	
15	肺実質病変の見え方 4	15	仰臥位と立位の違い	

2025 年度講義シラバス（8）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療画像診断学・応用編 (プライマリ・ケア画像診断学・応用編)		必修/選択	必修
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3640	
単位数	2 単位（前期 1・後期 1）	履修年次	2 年	
テーマと目的	胸部単純および CT 画像の実例を通して理解度を深める。(応用編)			
講義計画	1 回1時間で、一つのテーマを理解し、出席者全員で実際の症例を検討する。			
達成目標	各々の分野の画像を一通り理解し、画像判断を行うことができる。			
教科書・参考書	毎回プリントを配布する。			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	実際の読影の際に各個人の理解度を評価する。			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)	
1	胸部単純と CT の違い 1	1	スリガラス影の分布とその意義	
2	胸部単純と CT の違い 2	2	浸潤影と気管支壁肥厚	
3	胸部単純と CT の違い 3	3	Acinar shadow と結核	
4	胸部単純と CT の違い 4	4	娘気管支とマイコプラズマ肺炎	
5	小葉構造と CT 画像 1	5	Kerley lines と癌性リンパ管症	
6	小葉構造と CT 画像 2	6	石灰化を伴った肺腫瘍	
7	経気道性病変の CT 1	7	気腫性変化と蜂巣肺	
8	経気道性病変の CT 2	8	空洞病変とその特徴	
9	経気道性病変の CT 3	9	胸部単純と心臓の拍動	
10	間質病変と CT 画像・その1	10	吸気の種類と心陰影の見え方	
11	間質病変と CT 画像・その2	11	体位による心陰影・縦隔影の変化	
12	肺の構造と機能	12	Vascular pedicle とその意義	
13	気管気管支病変	13	肺血管の正常像	
14	肺動脈疾患	14	肺うつ血と胸部単純所見・その1	
15	大動脈疾患	15	肺うつ血と胸部単純所見・その2	

2025 年度講義シラバス（9）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療臨床推論学 (プライマリ・ケア臨床推論学)		必修/選択	必修
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3639	
単位数	2単位（前期 1・後期 1）	履修年次	1年	
テーマと目的	プライマリ・ケアに必要な臨床推論と EBM			
講義計画	臨床推論の概要、臨床疫学について学習し、後期では、実際の症例を呈示しながら解説を行う。			
達成目標	臨床の場より得られる情報に基づき、臨床疫学、医学文献を駆使し、EBM を実践することができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	課題に関する発表と質疑			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席⑩)	後期(回)	内 容 (出席⑩)
1	臨床推論学総論 ①		1	危険因子 ①
2	臨床推論学総論 ②		2	危険因子 ②
3	臨床推論学総論 ③		3	危険因子 ③
4	EBM ①		4	発生率と有病率
5	EBM ②		5	臨床推論の実際 ①
6	臨床疫学 ①		6	臨床推論の実際 ②
7	臨床疫学 ②		7	臨床推論の実際 ③
8	検査の精度 ①		8	臨床推論の実際 ④
9	検査の精度 ②		9	臨床推論の実際 ⑤
10	検査の精度 ③		10	臨床推論の実際 ⑥
11	検査の精度 ④		11	臨床推論の実際 ⑦
12	マスキリーニング		12	臨床推論の実際 ⑧
13	医学文献の吟味と利用 ①		13	臨床推論の実際 ⑨
14	医学文献の吟味と利用 ②		14	臨床推論の実際 ⑩
15	医学文献の吟味と利用 ③		15	臨床推論の実際 ⑪

2025 年度講義シラバス（10）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療治療学 (プライマリ・ケア治療学)		必修/選択	必修
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3639	
単位数	1単位（前期,後期）（第2, 4 週）	履修年次	1 年	
テーマと目的	日常診療で遭遇する頻度の多い症候と病態の理解で深める			
講義計画	プライマリ・ケア医にとって重要で、頻度の多い症候と病態について詳述する。			
達成目標	日常診療において頻度の多い症候・病態を理解し、適切な診断・治療方針の立案、実践を行うことができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	出席と講義時の質疑応答、受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与 の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)
1	適切な抗生剤使用		1	尿路結石
2	肺炎		2	心不全
3	肺結核		3	ウィルス性疾患
4	電解質異常		4	脳血管障害
5	大腸憩室炎		5	ショック
6	腎盂腎炎		6	低酸素血症
7	高血圧		7	アルコール性肝障害
8	不整脈		8	血球減少症
9	高血糖		9	DIC
10	低血糖		10	感染性心内膜炎
11	深部静脈血栓症		11	貧血
12	肺梗塞		12	甲状腺疾患
13	心虚血性疾患		13	髄膜炎
14	副鼻腔炎		14	オンコロジカル・エマージェンシー
15	けいれん発作		15	急性副腎不全

2025 年度講義シラバス（１１）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	総合診療感染症学 実習 (プライマリ・ケア感染症学 実習)		必修/選択	必修
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3640、3930	
単位数	2 単位（前期 1・後期 1）	履修年次	1 年	
テーマと目的	プライマリ・ケアに必要な感染症学の基礎を修得する。			
講義計画	原因微生物を想定し、抗菌薬の選択ができるよう感染症の体系を詳述する。			
達成目標	感染症学の基礎を理解し、適正な抗菌薬治療を行うことができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	出席と講義時の質疑応答、受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	原因微生物の想定	1	肺膿瘍 膿胸	
2	グラム染色による原因微生物想定	2	尿路感染症	
3	抗菌薬の選択	3	泌尿器関連感染症	
4	抗菌薬の投与量・投与経路	4	感染性心内膜炎	
5	PK/PD パラメーターについて	5	カテーテル関連感染症	
6	効果判定に用いるべきパラメーターについて	6	急性下痢症	
7	抗菌薬について	7	腹腔内感染症	
8	抗真菌薬について	8	皮膚・軟部組織感染症 ①	
9	抗ウイルス薬について	9	皮膚・軟部組織感染症 ②	
10	抗寄生虫薬について	10	髄膜炎 化膿性関節炎	
11	髄膜炎	11	耳・副鼻腔感染症	
12	脳膿瘍	12	性感染症	
13	脳炎	13	黄色ブドウ球菌感染症	
14	上気道感染症	14	連鎖球菌感染症	
15	下気道感染症	15	抗酸菌感染症	

2025 年度講義シラバス（１２）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	漢方医療学		必修/選択	選択
担当教員	松田 隆秀	担当教員連絡先	内線 3640	
単位数	2単位（前期 1・後期 1）	履修年次	2年	
テーマと目的	近年西洋医学との融合を念頭においた全人的視野で捉えた治療方針で選択できる能力を養う。			
講義計画	現代医療で使用される生薬・漢方薬について理解するために、漢方医学の考え方、基礎、理論及び診療法について基本的知識と技能を習得する。			
達成目標	西洋医学との融合を念頭においた全人的視野で捉えた治療の選択肢のひとつとして、漢方医療を選択できる能力を養う。			
教科書・参考書	学生のための漢方医学テキスト(南江堂)、入門漢方医学(南江堂) 絵でみる和漢診療学(医学書院)、漢方医学 大塚敬節著(創元社)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	出席状況、試験によって評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席㊥)	後期(回)	内 容 (出席㊥)	
1	漢方医学概論-西洋医学と東洋医学	1	漢方治療学概論	
2	漢方医学の歴史-日本漢方と中医学	2	主な方剤群【1】① 桂枝湯類	
3	漢方医学の基本的構造、方剤の性格	3	② 柴胡剤と瀉心湯類	
4	証とは何か	4	③ 麻黄剤	
5	基礎理論-八綱の概念	5	④ 附子剤	
6	基礎理論-六病位の概念	6	⑤ 地黄剤	
7	基礎理論-六病位の診断と記録	7	⑥ 人参湯類と参耆剤	
8	気血水の概念	8	⑦ 石膏剤	
9	気の異常	9	主な方剤群【2】① 気剤	
10	血の異常、水の異常	10	主な方剤群【2】② 駆瘀血剤	
11	五臓の概念と異常	11	主な方剤群【2】③ 利水剤	
12	漢方の診療法-四診とは	12	漢方薬の副作用	
13	漢方の診療法-望診、聞診、問診	13	服薬指導	
14	漢方の診療法-切診	14	生薬概論 薬剤作用	
15	漢方の診療法-切診	15	漢方薬の剤形	

2025 年度講義シラバス（13）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	プライマリ・ケア高齢者医療学		必修/選択	選択
担当教員	鳥飼 圭人	担当教員連絡先	内線 3639	
単位数	2単位（前期 1・後期 1）	履修年次	1 年	
テーマと目的	プライマリ・ケアに必要な高齢者医学、老年学を学ぶ(総論)			
講義計画	高齢者のプライマリ・ケアに必要な老年学および高齢者の医学に必要な基礎的知識を講義する。			
達成目標	高齢者に対して、より適切な全人的医療を実践することができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	課題に関する発表と質疑			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する。			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席@)	後期(回)	内 容 (出席@)	
1	老年学と老年医学 ①	1	高齢者薬物療法 ②	
2	老年学と老年医学 ②	2	予防医学 ①	
3	老化の機序 ①	3	予防医学 ②	
4	老化の機序 ②	4	高齢者の生活機能障害の評価 ①	
5	老年病の臨床 ①	5	高齢者の生活機能障害の評価 ②	
6	老年病の臨床 ②	6	高齢者介護と医療 ①	
7	高齢者に特有な症候 ①	7	高齢者介護と医療 ②	
8	高齢者に特有な症候 ②	8	高齢者介護とリハビリテーション ①	
9	高齢者の救急疾患と対策 ①	9	高齢者介護とリハビリテーション ②	
10	高齢者の救急疾患と対策 ②	10	高齢者の終末期医療と医療倫理 ①	
11	高齢者の検査値の変化と意義 ①	11	高齢者の終末期医療と医療倫理 ②	
12	高齢者の検査値の変化と意義 ②	12	高齢者と精神医療 ①	
13	高齢者の栄養 ①	13	高齢者と精神医療 ②	
14	高齢者の栄養 ②	14	医療経済 EBM ①	
15	高齢者薬物療法 ①	15	医療経済 EBM ②	

2025 年度講義シラバス（１４）

講義コード	※	専攻分野	総合診療内科学	
講義題目	プライマリ・ケア地域医療学		必修/選択	選択
担当教員	大平 善之	担当教員連絡先	内線 3639	
単位数	2単位（前期 1・後期 1）	履修年次	2年	
テーマと目的	地域医療の実際			
講義計画	地域医療に必用な基礎的事項と実践について詳述する。			
達成目標	地域の医療機関、施設等を含めた多職種連携・協働による地域で生活する人々に対するアプローチを理解し、将来の地域包括ケアシステムのあり方について考えることができる。			
教科書・参考書	「総合診療」中山書店、「家庭医プライマリ・ケア医入門」プリメド社、 「根拠に基づく医療 Evidence-Based MEDICINE」オーシーシー(株)			
準備学習(予習・復習・時間)	Primary Care Medicine (Aller H.Goroll)を用いて、各講義に合わせて予習すること。 1時間			
成績評価法	課題に関する発表と質疑			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	プライマリ・ケアの知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1	地域医療学とは ①		1	地域の医療機関 ①
2	地域医療学とは ②		2	地域の医療機関 ②
3	地域医療学とは ③		3	地域の医療機関 ③
4	地域で捉えた予防医学 ①		4	在宅医療 ①
5	地域で捉えた予防医学 ②		5	在宅医療 ②
6	健康福祉局の役割 ①		6	在宅医療 ③
7	健康福祉局の役割 ②		7	在宅医療 ④
8	健康福祉局の役割 ③		8	在宅ターミナルケア ①
9	地域クリニカルパス ①		9	在宅ターミナルケア ②
10	地域クリニカルパス ②		10	在宅ターミナルケア ③
11	種々の職業との連携 ①		11	僻地医療 ①
12	種々の職業との連携 ②		12	僻地医療 ②
13	病診連携 ①		13	地域医療における医療制度 ①
14	病診連携 ②		14	地域医療における医療制度 ②
15	病診連携 ③		15	地域医療における医療制度 ③